



日比谷総合設備株式会社

(証券コード：1982)

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

2025年8月6日

決算概要（連結）

- 受注は、手持ち工事の水準や工期・施工体制を見極め、戦略的に実施。
- 売上高は、前期からの繰越工事が順調に進捗し、対前年同期で増収。
- 利益は、売上高の増加に加え、受注時の採算改善・施工の効率化等により利益率が上昇し、対前年同期で増益。

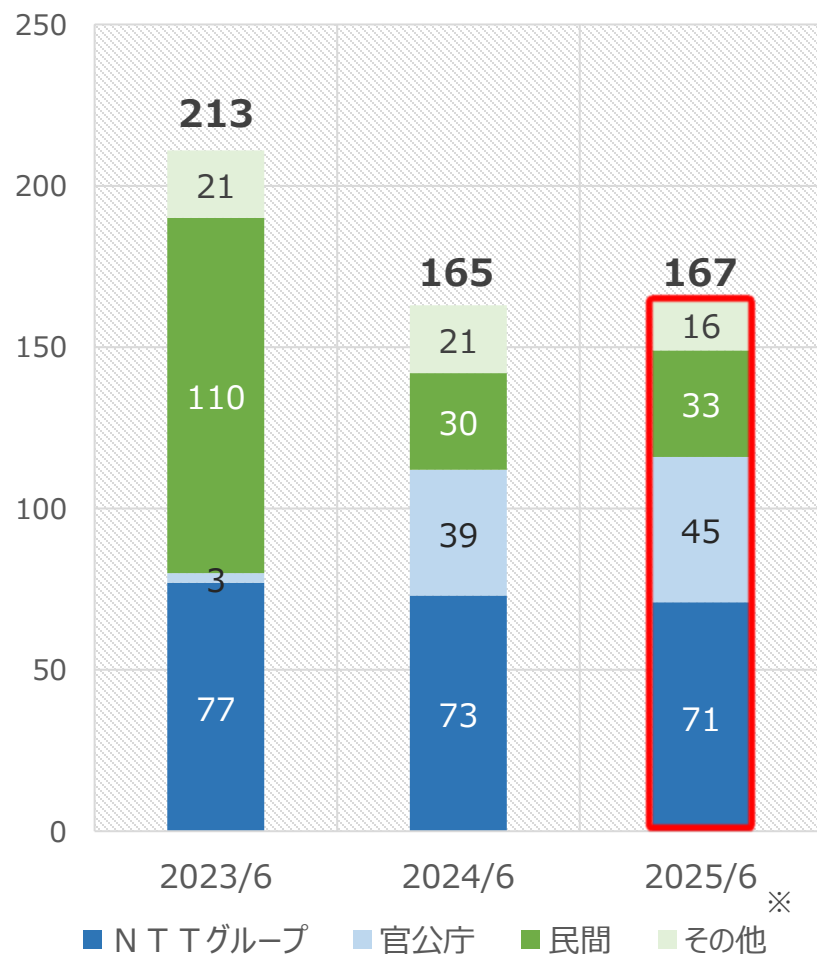
（単位：億円）

	2023/6	2024/6	2025/6	前年同期比	前年同期比 (%)	2024/3 実績 (通期)	2025/3 実績 (通期)	2026/3 業績予想 (通期) 2025.5.13発表
受注高	213	165	167	+1	+0.6%	1,055	936	955
売上高	161	175	190	+15	+8.8%	837	897	935
売上総利益 (粗利益)	23	29	36	+6	+23.2%	149	172	176
売上総利益率 (粗利率)	14.4%	17.0%	19.2%	+2.2%	—	17.8%	19.2%	18.9%
営業利益	4	9	16	+6	+66.8%	57	74	78
経常利益	7	12	19	+6	+54.9%	64	81	84
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	5	8	13	+5	+63.8%	48	59	60

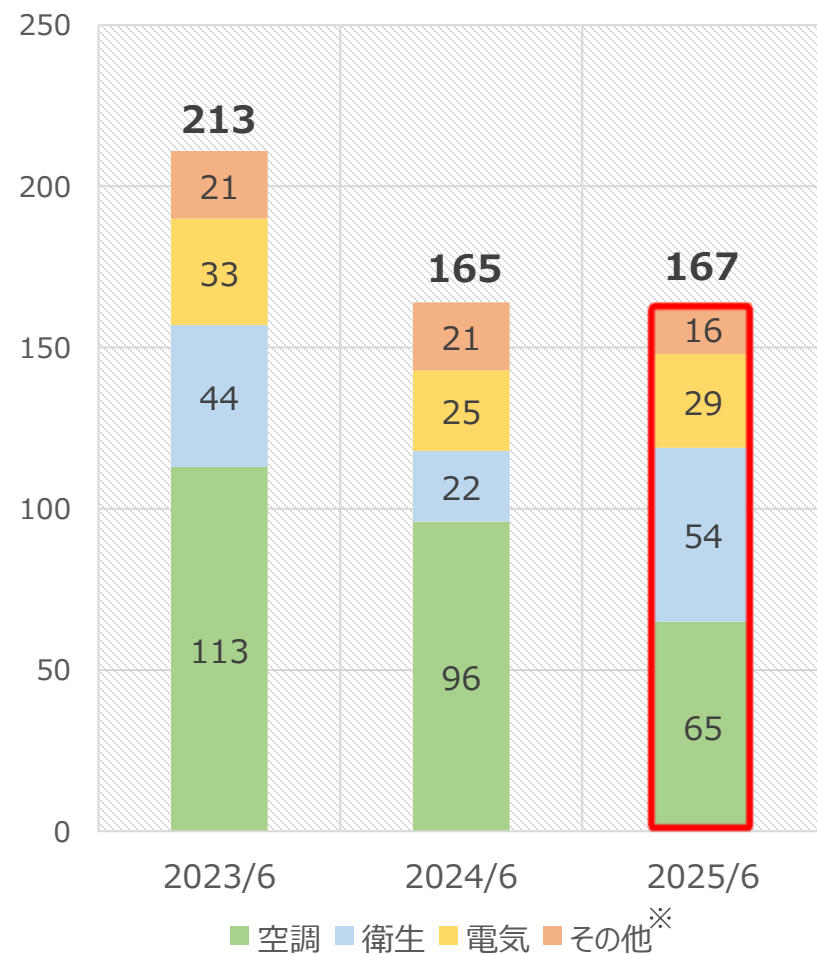
受注高 (1) 顧客別・分野別 (連結)

■ 受注高は、前年と同様に戦略的に進めており、前年並みで推移。

受注高 顧客別 (単位：億円)

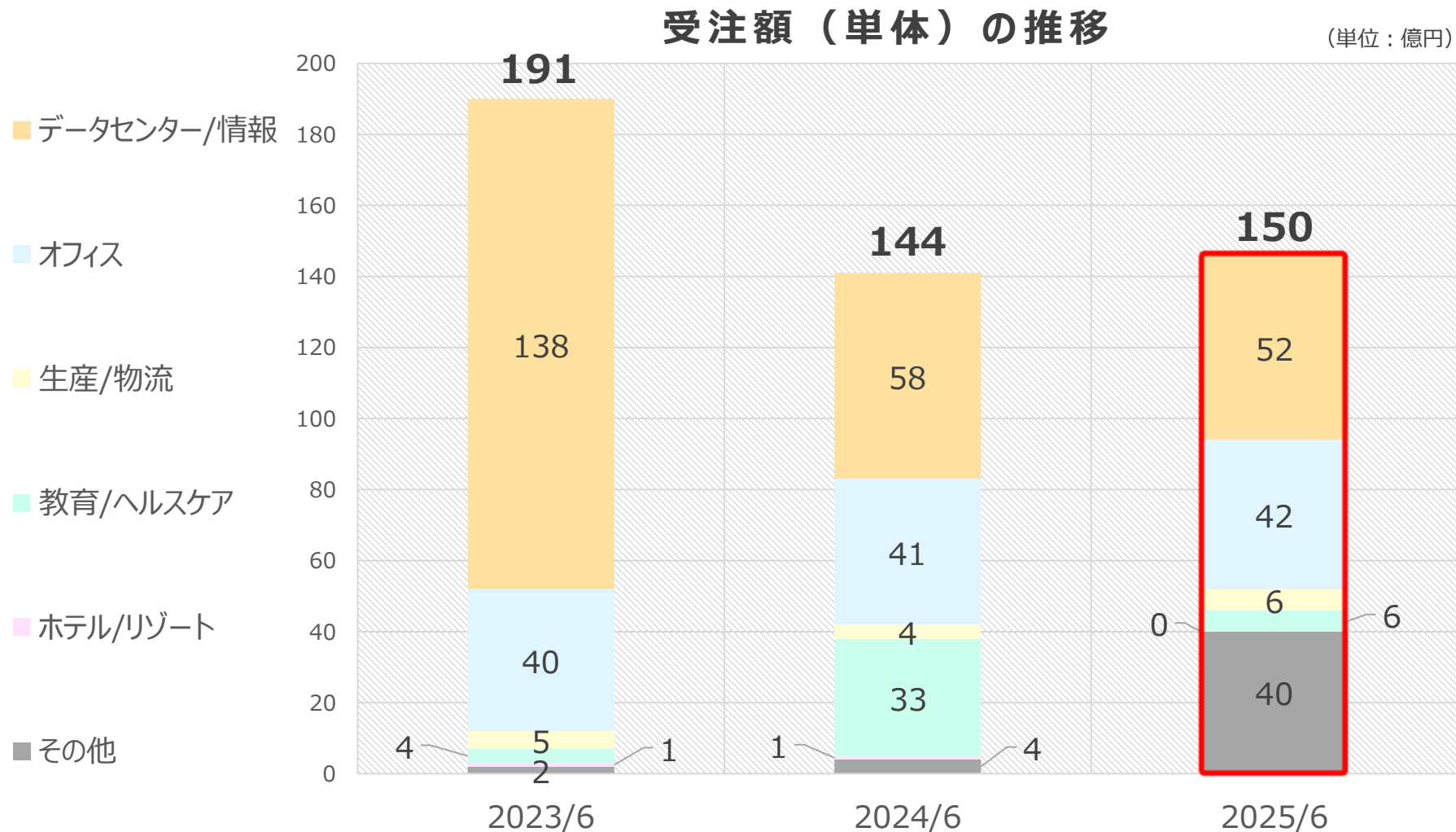


受注高 分野別 (単位：億円)



受注高 (2) 建物用途別 (単体)

- データセンター/情報は、戦略的な受注活動を進め、対前期と同程度の水準。
- 教育/ヘルスケアは、前期に病院大型案件受注があったための減少で、その他は、イベントホールの大型受注案件により増加。

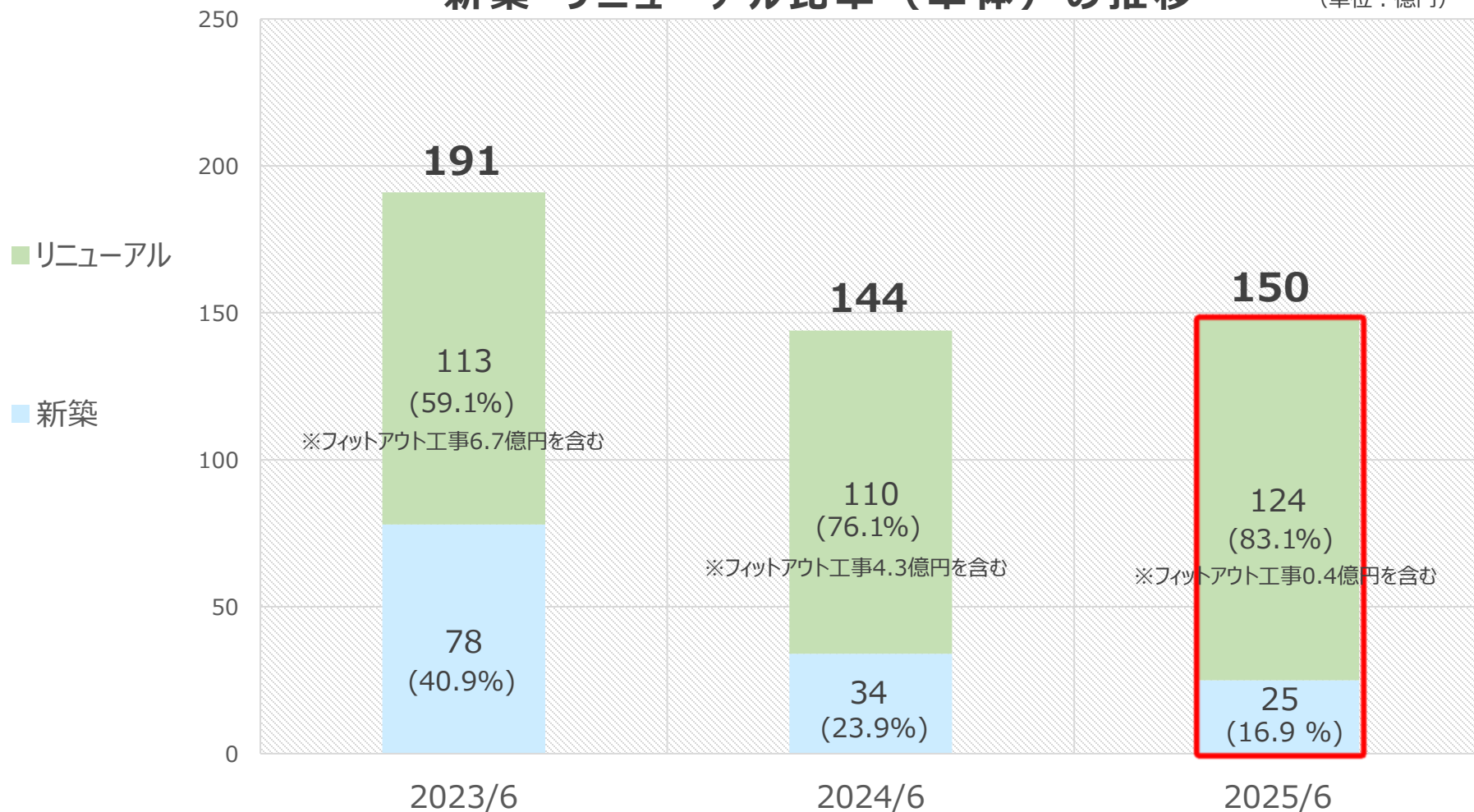


受注高 (3) 新築・リニューアル比率 (単体)

- リニューアル案件は堅調に推移し、民間を中心とした新築案件は戦略的に進めたことから、対前年同期で減少。

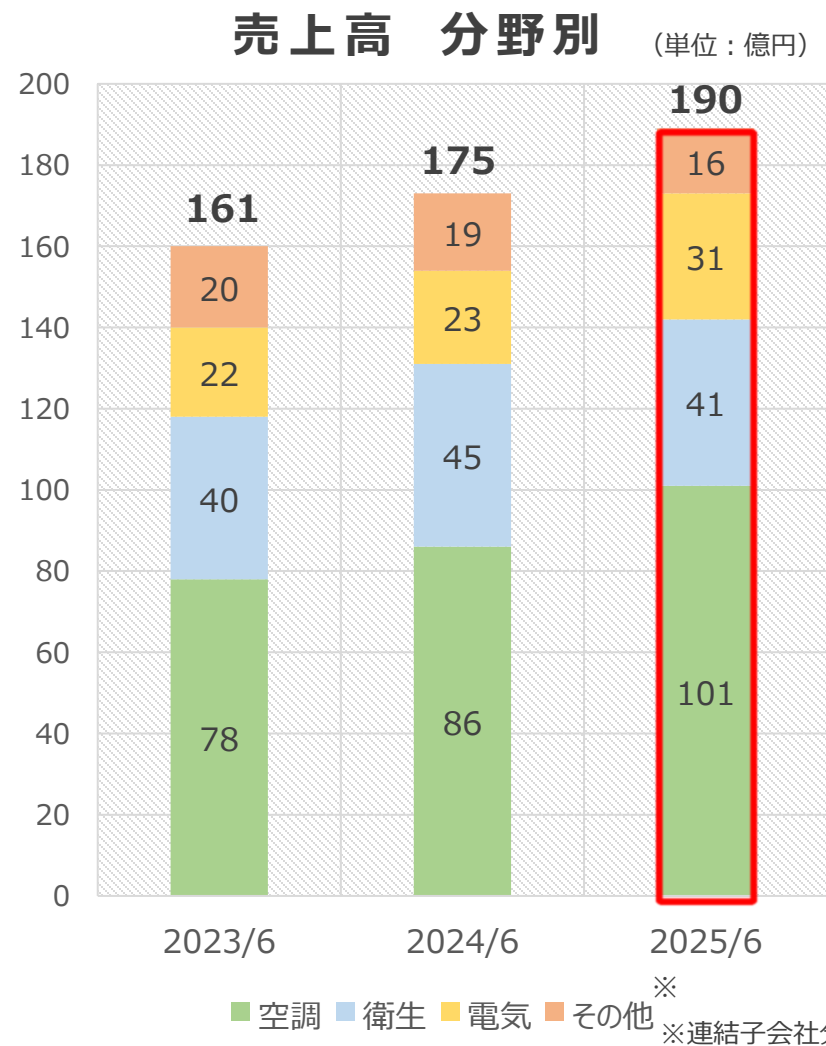
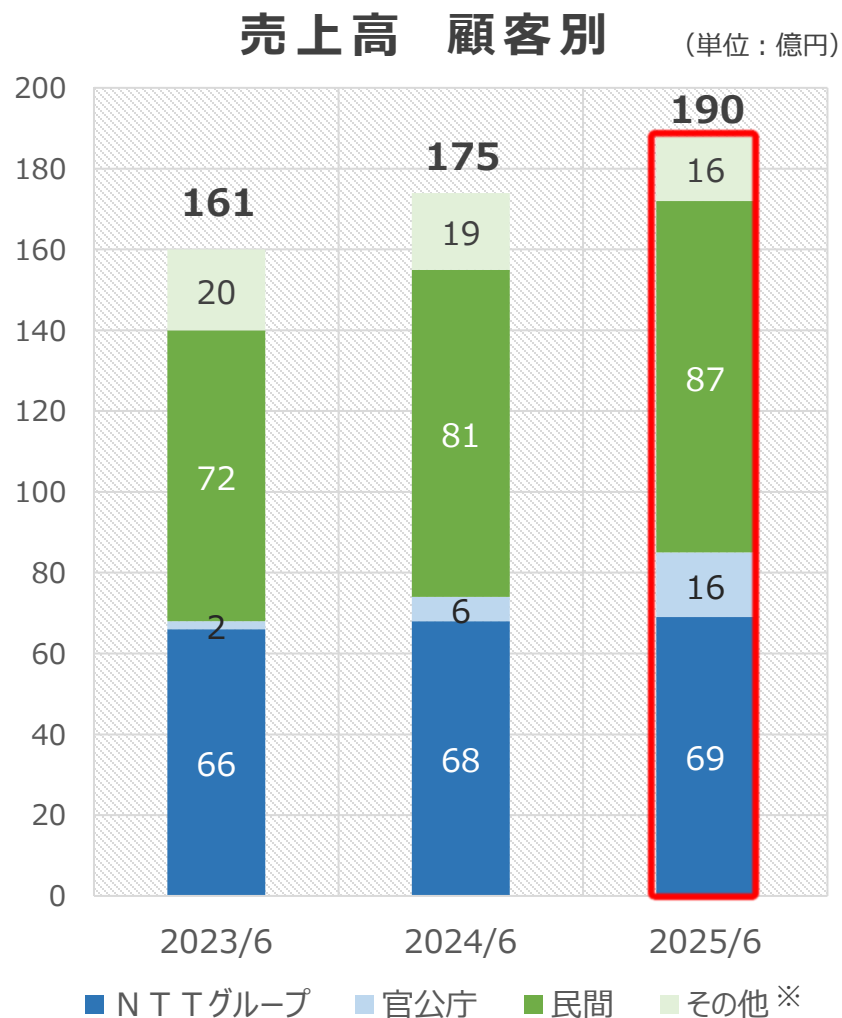
新築・リニューアル比率 (単体) の推移

(単位：億円)



売上高 (1) 顧客別・分野別 (連結)

■ 各顧客・工事分野でバランスよく進捗。

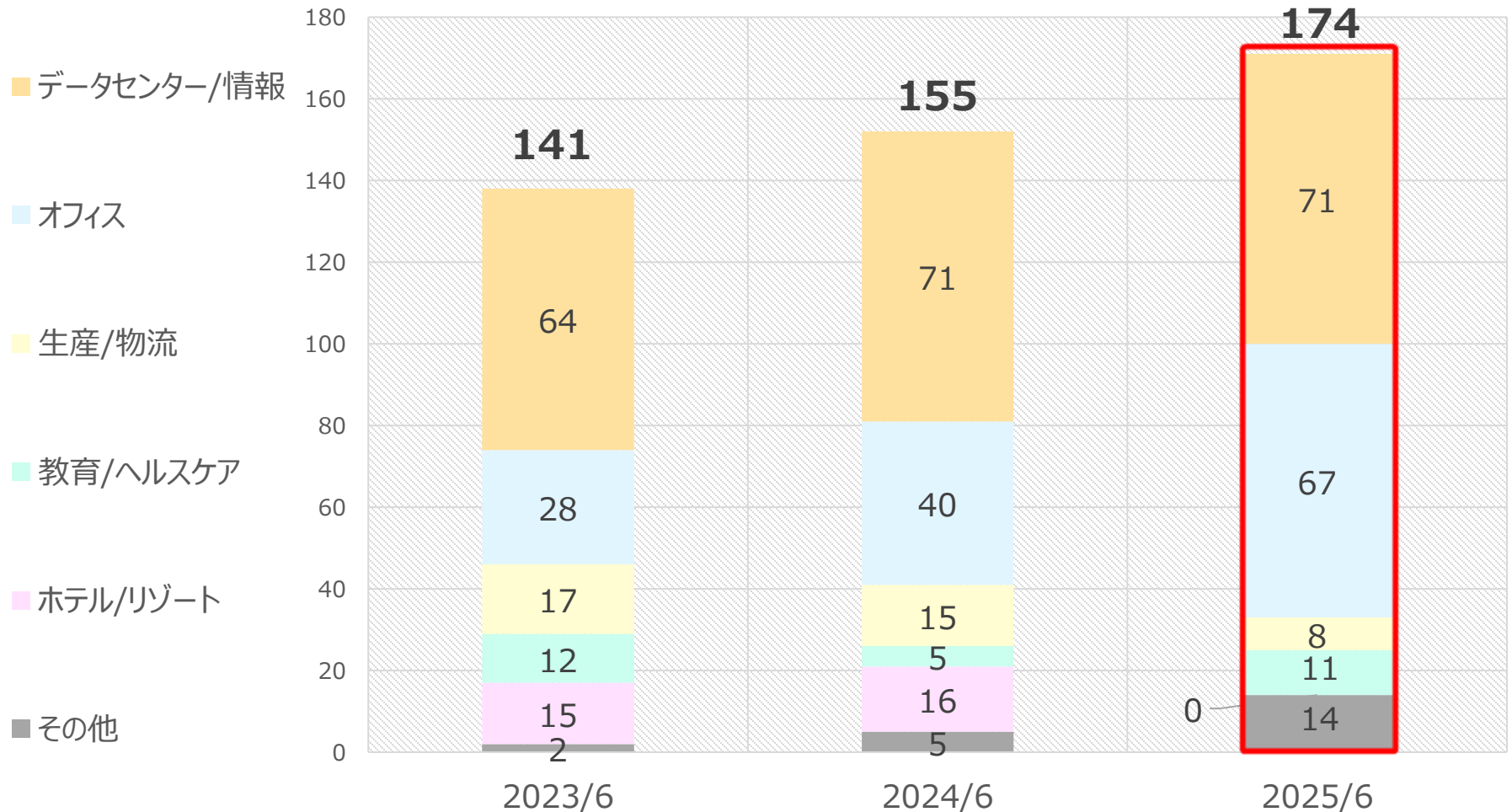


売上高（2）建物用途別（単体）

- データセンター/情報は前期並みに進捗。
- オフィスは前期からの繰越工事が順調に進捗し、対前期で増加。
- 病院およびマンション案件が増加し、教育/ヘルスケアとその他が増加。

売上額（単体）の推移

（単位：億円）

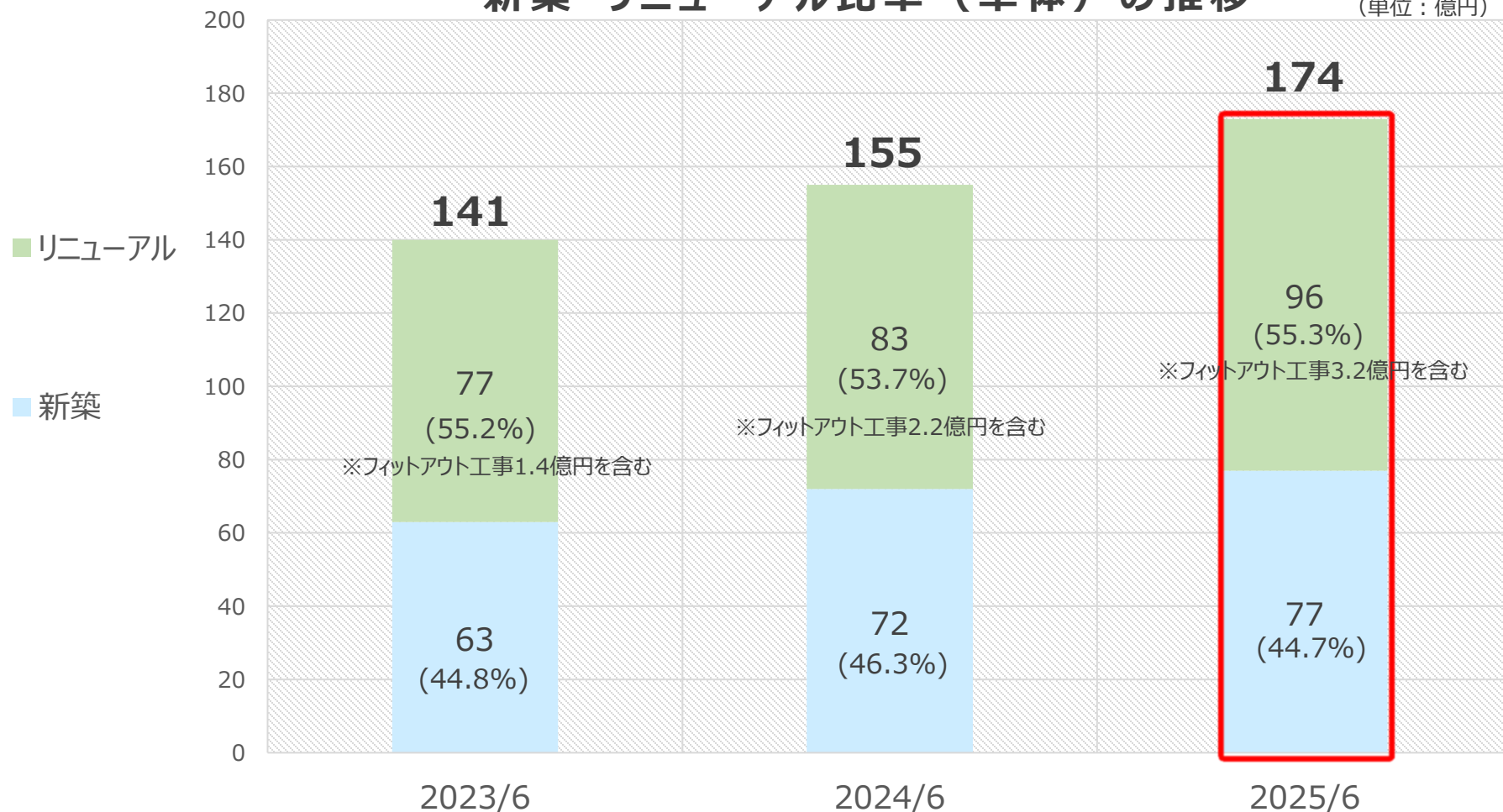


売上高 (3) 新築・リニューアル比率 (単体)

- リニューアル案件は堅調に推移するとともに、データセンターのフィットアウト工事も増加。
- 新築案件も、前期からの繰越工事が順調に進捗し、増加。

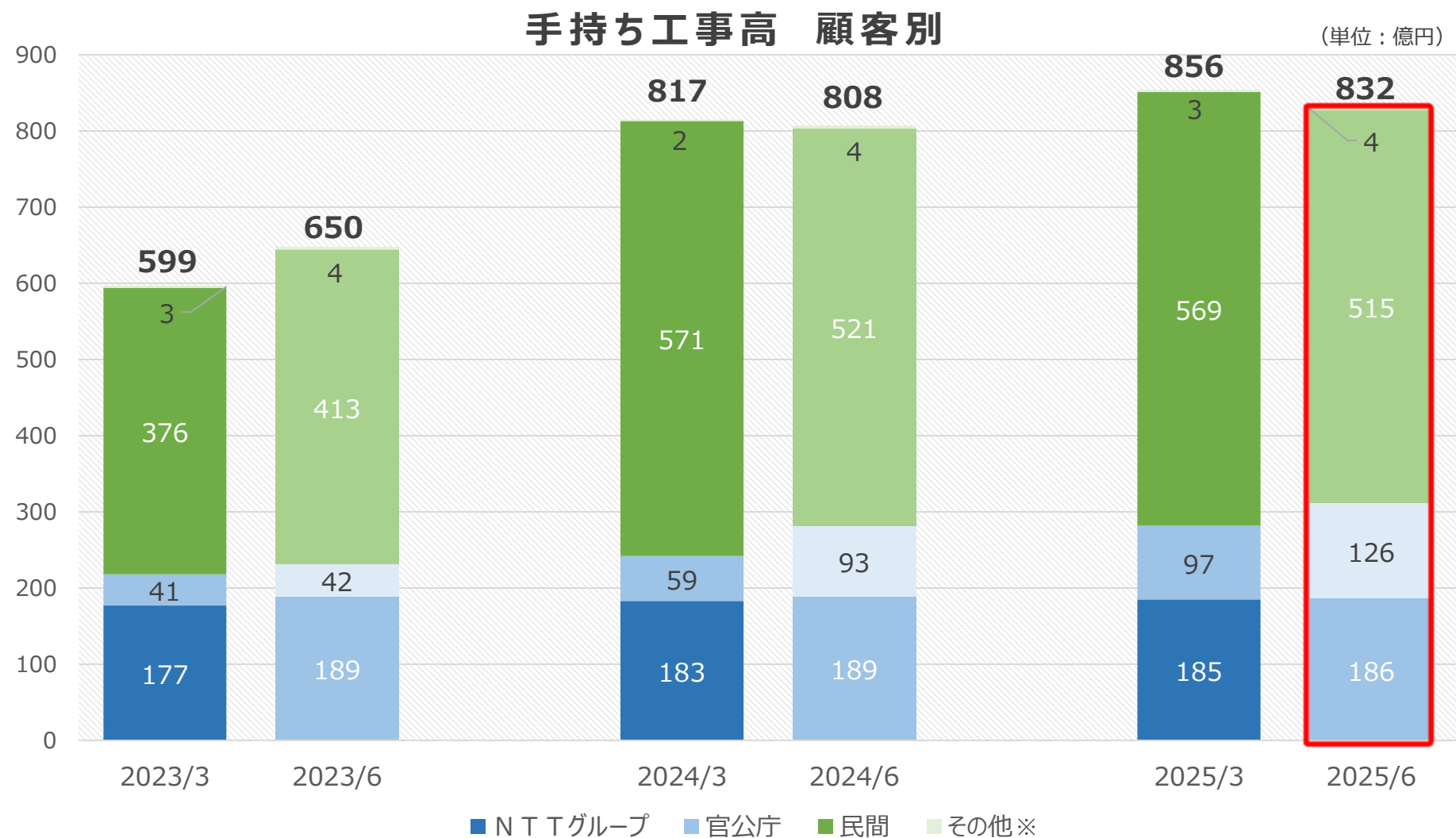
新築・リニューアル比率 (単体) の推移

(単位：億円)



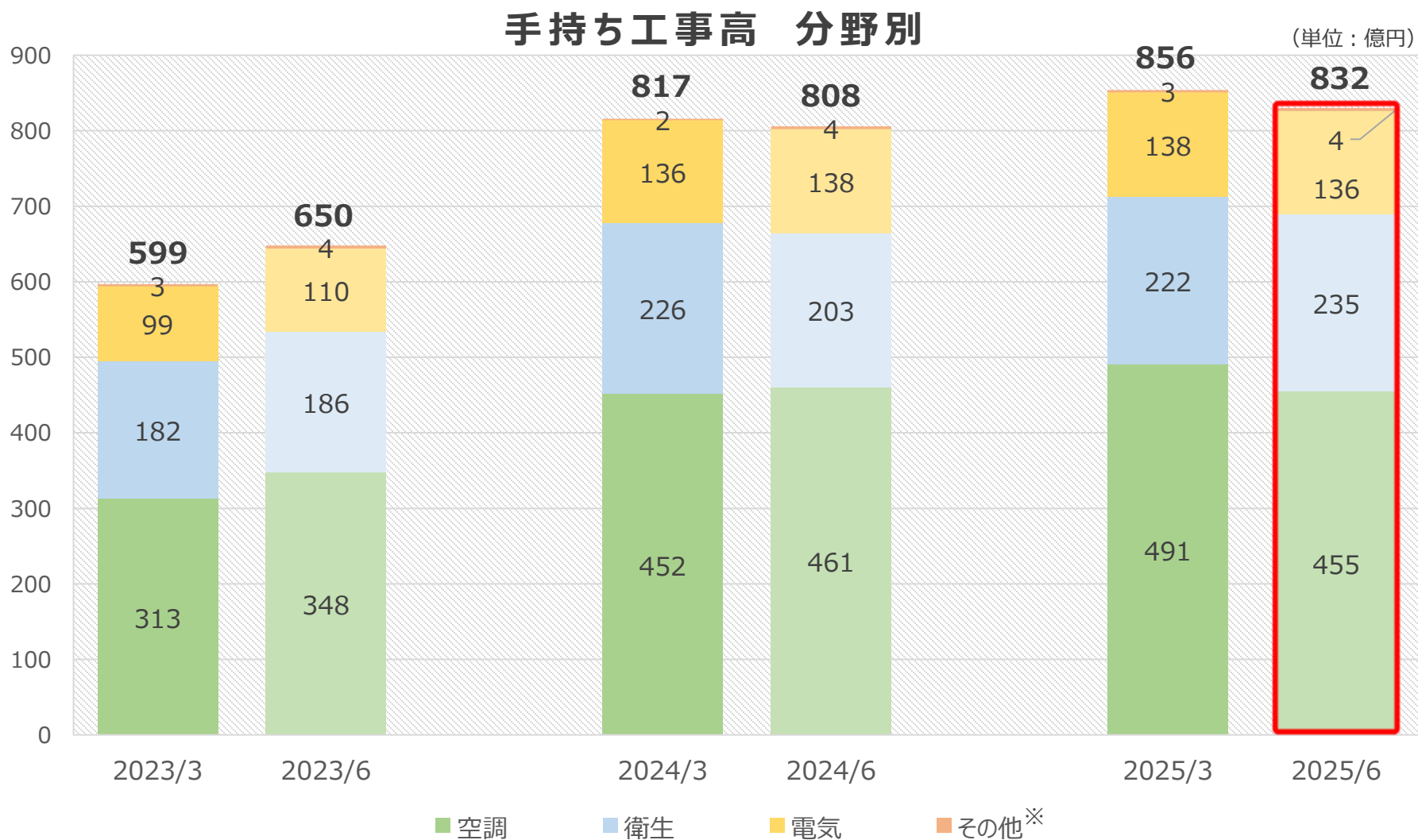
手持ち工事高 顧客別（連結）

■ 手持ち工事高は、引き続き前期と同様に高い水準で推移。



※連結子会社分

手持ち工事高 分野別（連結）



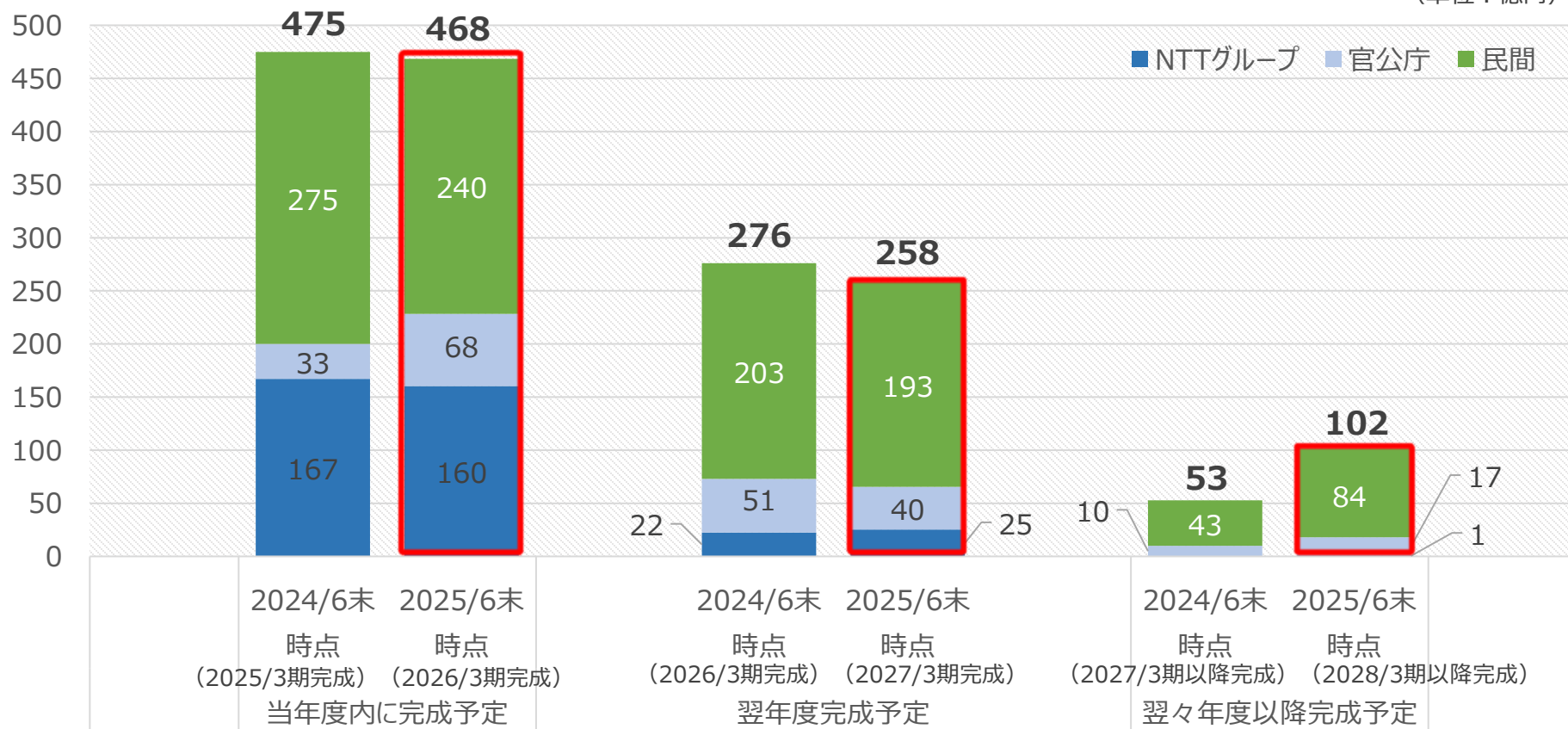
※連結子会社分

手持ち工事高（単体）

- 今期売上高に計上される手持ち工事は、前年同期同様、高い水準。
- 工期の長い案件の受注により、2028年3月期完成まで2年超の工事が増加。

手持ち工事高（単体）

（単位：億円）



【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【本資料に関するお問い合わせ先】

日比谷総合設備株式会社

管理本部 IR・広報室

〒108-6312 東京都港区三田3-5-27 住友不動産東京三田サウスタワー13階

TEL : 03-3454-2720 FAX : 03-3454-3410